

崎山湾・網取湾自然環境保全地域
生態系維持回復事業計画（案）の概要について

①. 生態系維持回復事業の背景

ウミシヨウブは日本では八重山列島のみに群生する海産顕花植物で、同列島が分布の北限。崎山湾・網取湾自然環境保全地域を含む西表島海域が国内最大かつ主要な生育域。当該海域のウミシヨウブ群落は魚介類の餌場や産卵場として生態系にも重要な役割。しかし、近年、当該海域での生息密度が高くなっているアオウミガメの採食によって、ウミシヨウブ群落が減少。

②. 生態系維持回復事業の目標

アオウミガメ個体群の維持にも配慮しつつ、採食によって全域にわたって葉長が短くなったウミシヨウブ群落の回復が当面の目標。将来的には減少が始まる前（2004年以前）の状態への回復を目指す。

③. 生態系維持回復事業の内容

- (1) 生態系の状況の把握及び監視に関する事業
(ウミシヨウブ等の海草藻場、アオウミガメの生息状況、生態系のモニタリング)
- (2) 生態系の維持又は回復に必要な動植物の保護増殖に関する事業
(採食防止柵および網等の設置、ウミシヨウブの増殖の検討)
- (3) 生態系の維持又は回復に資する普及啓発に関する事業
- (4) その他の事業
(広域的な海草藻場とアオウミガメ個体群の状況把握やアオウミガメとの共生に向けた取組)

④. その他

策定者：環境省

区 域：崎山湾・網取湾自然環境保全地域（全域）

5年をめどに見直し。

関係行政機関、関係団体等で構成される「連絡会議」において、情報共有・連絡調整を図り、連携及び協力して必要な事業を実施。

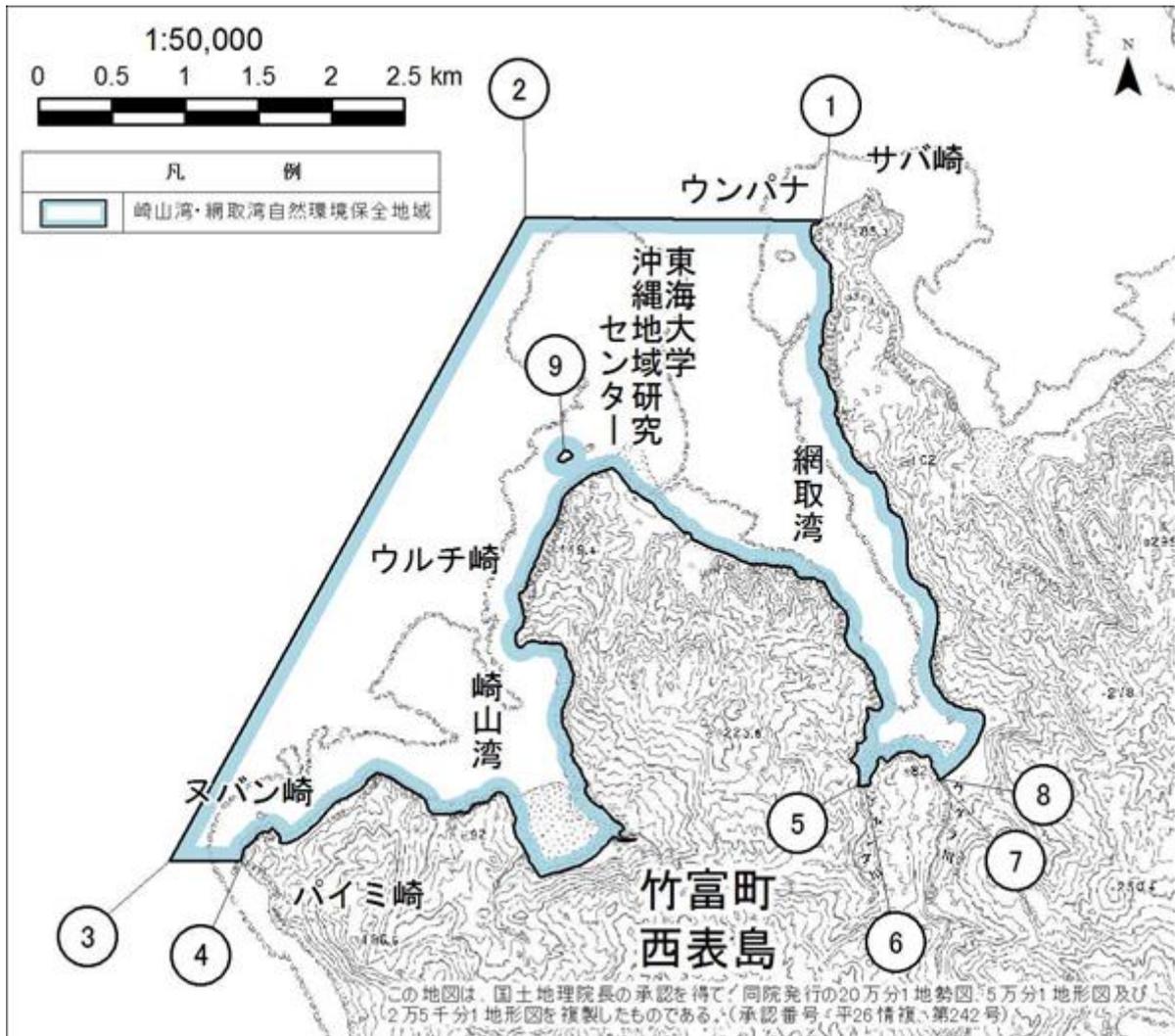


図1 崎山湾・網取湾自然環境保全地域区域図

[区域]

- ①-② ウンパナから真北を0度として270度に伸びる直線界
- ②-③ 北緯24度20分53.029秒東経123度40分50.091秒の地点と北緯24度18分31.130秒東経123度39分24.194秒の地点を結ぶ直線界
- ③-④ ヌバン崎から真北を0度として270度に500m伸びる直線界
- ④-⑤ 汀線（最高高潮位）界
- ⑤-⑥ 北緯24度18分47.933秒東経123度42分10.108秒の地点と北緯24度18分48.031秒東経123度42分12.713秒の地点を結ぶ直線界
- ⑥-⑦ 汀線（最高高潮位）界
- ⑦-⑧ 北緯24度18分49.350秒東経123度42分30.830秒の地点と北緯24度18分49.460秒東経123度42分31.465秒の地点を結ぶ直線界
- ⑧-① 汀線（最高高潮位）界
- ⑨-⑨ 汀線（最高高潮位）界

※座標値は新測地系（JGD2000）に準拠